

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	13,766,621	14,071,827
振替預金(会費)	6,444,439	4,951,539
振替預金	461,800	1,056,600
普通預金	6,860,382	8,063,688
未収金	137,251	183,750
前払金	2,082,500	2,542,450
合 計	15,986,372	16,798,027
未払金	3,560	2,870
前受金	453,000	349,000
前受会費	6,026,500	4,824,700
預り金	83,009	35,852
合 計	6,566,069	5,212,422
次期繰越収支差額	9,420,303	11,585,605

### 3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 学術集会事業収入のうち、講習会収入決算は予算より増加した。これは、講習会を2回開催し、参加者が当初の見込みより増えたことによる。
- (2) 学術集会等事業費支出のうち、全国講演会支出決算は予算より減少した。これは、当初の見込より管理部門による当該事業への業務量が減少したことに伴い、管理費の配分を当初の見込から見直したことによる。
- (3) 学会誌等発行业務費支出のうち、学会誌支出決算が予算より増加した。これは、当初の見込より管理部門による当該事業への業務量が増加したことに伴い、管理費の配分を当初の見込から見直したことによる。
- (4) 学会誌等発行业務費支出のうち、PIVハンドブック支出は予算より減少した。これは、PIVハンドブックの出版活動を今年度実施せず、翌年度実施としたことによる。